

施設名称	〔48〕 東京都台東区立今戸社会教育館					
指定管理者の名称	株式会社山武（現アズビル株式会社）			指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育施設他35施設					
(3)経営状況	売上総利益		販売費・一般管理費	営業利益（単位：百万円）		
	22年	61,831	49,160	12,670		
	23年	61,807	50,536	11,271		
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区今戸2-26-12（今戸住宅2F）					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクウェア等を開設し自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	社会教育団体として登録されている団体。生涯学習課及び指定管理者が行う事業に参加する区民等					
(4)開館日・時間	開館日：火曜～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：年末年始（12/28～1/4） 設備点検日					
(5)規模	ホール：50名(107㎡) 和室：30名(66㎡) 第一会議室：30名(55㎡) 第二会議室：40名(57㎡)					
(6)人員体制	週40時間勤務 5名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	1.生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 2.施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 3.生涯学習ラーニングスクウェアの実施					
(2)自主事業	7講座実施 延べ19回 延参加人数286名					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	13,914,000	15,214,000	15,490,000	15,595,000	15,888,000
	料金収入等	2,500,000	1,200,000	1,100,000	1,160,000	1,300,000
	管理経費	16,414,000	16,414,000	16,590,000	16,755,000	17,188,000
決算	委託料	13,914,000	15,090,000	15,490,000	15,595,000	15,888,000
	料金収入等	1,102,790	985,555	890,290	1,058,746	1,098,430
	管理経費	16,266,253	16,075,555	16,380,290	16,653,746	16,986,430
	収支	-1,249,463	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
年間開館日数		日	340	340	342	343
ラーニングスクウェア講座数		講座	14	14	14	12
自主事業講座数		講座	4	5	6	7
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 （25年度）	21年度	22年度	23年度
利用率		%	29.0	25.4	28.1	28.8
利用件数		件	1,200	991	1,103	1,130
利用人数		人	19,000	15,434	17,252	18,795

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取り組み				
<p>震災後4月1か月間区に要請に応え、被災者の受け入れに協力し和室の開放を行った。「学び合う」意義を重視し区内団体や地域の人材と連携をとりながら、講座の効果的な運営方法を工夫した。講座受講後の有志によるサークル発足を支援し、継続した学習活動への取り組みを行った。親子だけでなく若年世代のニーズにあった子育て中のかたも参加しやすい講座企画し、幅広い世代が学び合えるよう工夫した。以上の取り組み、工夫が利用者増に結びついている。</p>				
8. 評価項目				
<p>3：協定等の水準を上回っている。  2：協定等の水準どおりである。  1：おおむね協定等の水準だが課題がある。  0：協定等の水準を下回っている。  -：評価対象外項目。</p>				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[3] [3] [2] [2] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)経費縮減のための取り組み	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
<p>S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	S	応募率が高かったラーニングスクエアの「ネイティブ先生と学ぶ英会話」を継続学習にするため自主事業でも取り上げ、サークル発足までの支援を行ったことが、利用率増加の一因となった。		
(2)施設の維持管理	A	毎月行なわれる館長会議で、社会教育センターと密接に連絡をとって保守、設備点検等、社会教育施設全体の管理運営を円滑に行なっている。利用者の要請によりミネラルウォーターを設置し利用者に提供している。		
(3)利用者の満足度	A	地元の人材を発掘しニーズの高い講座を行なったり、既存のサークルに学習の地域還元とPRを目的とした講座を実施してもらうなど、新規サークルの発足支援と既存サークルの活性化を図っている。		
(4)歳入歳出	A	歳出については適正に行なわれている。歳入は企画講座の工夫により少しずつ増加しているため、更なる努力が望まれる。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
妥当		アクセス面では条件の不利な施設ではあるが、地域の人材を活用したニーズの高い講座を企画し、託児付きの講座を行なうことで今まで社会教育館を利用したことがない年代層の利用拡大に尽力している。		
11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応				
<p>既存サークルの活性化や、新規サークルの支援を引き続き行なうと共に今まで館を利用したことがない年代層が利用しやすい環境を提供し、魅力的な講座を開催することで利用率の更なる向上を図っていく。</p>				